

みんなの力で 安心のまちへ

千葉県内における昨年1年間の刑法犯認知件数は、平成16年と比べて16,546件(11.2%)減少しましたが、旭警察署管内では67件(6.2%)増加しました。

旭警察署ではパトロールの強化をはじめ、さまざまな活動を通じて犯罪の抑制と検挙に努めていますが、皆さんのちょっとした心がけで、まだまだ犯罪の発生を抑えることができます。一人ひとりが「自分たちのまちは自分たちで守る」という防犯意識の向上を図り、地域ぐるみで安全で安心なまちづくりを目指しましょう。

被害に遭わないための防犯対策

◆空き巣

- ・出かける際は確実に戸締りをしましょう。
- ・玄関ドアや窓ガラスには補助錠を取り付けましょう。
- ・家の周りで見通しの悪いところに、センサー付きライトを設置しましょう。
- ・家の塀や生け垣を低くし、見通しをよくしましょう。
- ・防犯ガラスや防犯フィルムを利用しましょう。

◆ひったくり

- ・ハンドバッグなどは車道と反対側に持ちましょう。
- ・自転車の前後カゴには、防犯ネットを掛けましょう。
- ・暗がり、人通りの少ない道路は避けましょう。

◆車上狙い・自動車盗

- ・短時間でも車から離れるときはドアロックをし、窓は完全に閉めましょう。
- ・車内に貴重品などを置かないようにしましょう。
- ・車にスペアキーを保管しないようにしましょう。
- ・駐車場にセンサー付きライトを設置しましょう。

◆自転車盗

- ・2個以上の鍵をかけましょう。
- ・ワイヤー錠などでタイヤと固定物をつなげて止めましょう。

◆刑法犯認知件数の推移(過去5年間)

	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
千葉県	164,721	168,366	164,278	147,587	131,041
旭警察署管内	1,561	1,330	1,255	1,074	1,141

※平成17年の数字は暫定数値です。

◆刑法犯認知件数(旭警察署管内)

	総数	主な犯罪			
		空き巣	忍び込み	居空き	ひったくり
平成17年	1,141	22	10	9	14
平成16年	1,074	43	29	6	12
増減	67	△21	△19	3	2

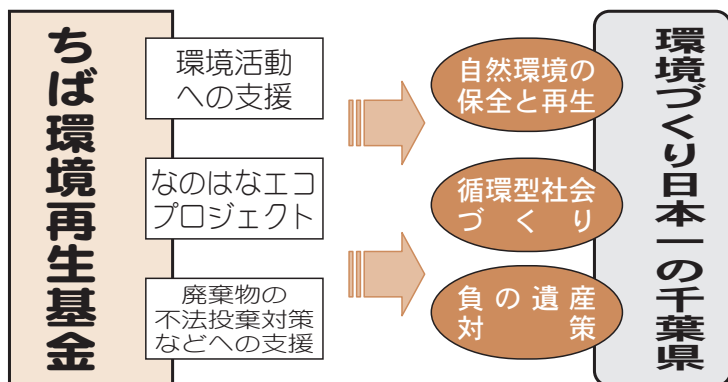
	主な犯罪(続き)				
	自動車盗	オートバイ盗	自転車盗	車上狙い	部品狙い
平成17年	52	18	123	235	69
平成16年	34	14	86	213	42
増減	18	4	37	22	27

※主な犯罪を抜き出したため合計は総数と一致しません

◆管内の刑法犯認知状況等

- ・市民63人に1人が被害者になる計算です。
(人口71,527人 H18.1.1現在)
- ・1日平均3件発生しています。
- ・空き巣、忍び込み等は、主に旭市内の「イ、ロ、ハ、ニ」および鎌数地先で発生しています。
- ・ひったくり、自動車盗、車上狙い等は、旭市街地、各駅、旭中央病院周辺、海岸駐車場等で多く発生しています。

問い合わせ先／旭警察署生活安全課 (☎64-0110)



「ちば環境再生基金」は、千葉県が『とりもどそう！ふるさと自然』をスローガンに、環境づくり日本一を目指して作成した「ちば環境再生計画」に基づき、(財)千葉県環境財団に設置された基金です。この基金は県民総参加による豊かな環境づくりのため、市町村やNPO・市民団体による自然環境の保全・再生等の活動を支援しています。

「ちば環境再生基金」をご存知ですか



基金のマスコット
ちば犬

ちば環境再生基金の主な事業は、次のとおりです。

- NPO環境活動への助成
 - 市町村による戦略的自然再生事業への助成
 - 負の遺産対策への助成
 - なのはなエコプロジェクト
- ちば環境再生基金は、県民総参加によりふるさと自然環境の保全・再生を実現しようとする活動です。皆さんの募金で、ふるさと自然環境を守り、取り戻して環境づくり日本一を実現するために、ご支援・ご協力をお願いします。

へ問い合わせ先

(財)千葉県環境財団

☎043-246-2091

<http://www.ckz.jp/saisei/>